

I C T 部門における業務継続計画初動検討 被災パターン

2 0 1 2 年 9 月 2 7 日

1 . I C T - B C P を検討する際の初動の被害想定について

- ICT - BCPを検討する上での「被害の想定」をする際は、「対象とする災害・事故の事象を特定して、当該事象によりどの程度の被害を受けるかを想定した上で、実施すべき具体的な対策を検討する」（ICT - BCPガイドライン ステップ10）。
また、「事象の特定は、最大の被害になり得る事象を選ぶことで、他の事象への対策もある程度包含した対策とすることができる」（ICT - BCPガイドライン ステップ10）。そのため、初動の被害想定に当たっては、東日本大震災で実際に起きたケースを参考提示する。
- 東日本大震災で実際に起きたケースから、以下の被災3パターンを抽出し初動の被害想定の一助とする。

被災パターン	被災内容
aパターン 庁舎が無事	庁舎の一部に被害があるものの、発災後、早期に利用することが可能であり、現場で喪失した資源のみの復旧を始めるケース
bパターン 庁舎が全壊、域内の仮庁舎にて復旧	庁舎は全壊し、当然その中にある各種ICT資源もすべて喪失され、現場での復旧を1からはじめるケース
bパターン 庁舎が全壊、域外の仮庁舎にて復旧（ 庁舎・住民共に遠隔地へ移転）	甚大な被害により、庁舎全壊に留まらず、庁舎が住民と共に遠隔地へ移転することが、長期間にわたり、余儀なくされるケース

bパターン のモデルとした地方公共団体では、実際には庁舎は無事であったが、最悪のケースとして庁舎が全壊していることを想定

2. 3つの被災パターン

－被害無、 －被害有、現場復旧、 × - 被害有、現場復旧不可or長期停止

被災パターン		aパターン	bパターン	bパターン	
社会インフラ	電気	15日間停止	× 1ヵ月以上停止	× 1ヵ月以上停止	
	携帯	電話	1週間つながりにくい状況	1週間つながりにくい状況	1週間つながりにくい状況
		メール	数日間、受信しにくい状況	数日間、受信しにくい状況	数日間、受信しにくい状況
	水道	1週間停止	× 1ヵ月以上停止	× 1ヵ月以上停止	
	交通機関	1週間停止	× 1ヵ月以上停止	× 1ヵ月以上停止	
	道路	1週間使用不可	応急的に一部使用可	応急的に一部使用可	
自庁舎資源	庁舎建物（電算室他）	代替事務所での仮復旧に4日要す 本庁での復旧15日要す	× 仮設庁舎での仮復旧に9日要す プレハブ庁舎設置に3ヶ月要す	× 避難開始まで2日を要す 移転先での復旧に10日要す	
	付帯設備（空調等）	15日間使用不可（電力依存）	×	× 避難開始まで2日を要す	
	電話（内線、外線）	15日間使用不可（電力依存）	×	× 避難開始まで2日を要す	
	庁内ネットワーク	15日間使用不可（電力依存）	× 4か月半使用不可	× 避難開始まで2日を要す	
	地域イントラネット	15日間使用不可（電力依存）	×	× 避難開始まで2日を要す	
	インターネット接続	15日間使用不可（電力依存）	× 仮庁舎での復旧に19日を要す	× 避難開始まで2日を要す	
	サーバ&周辺機器（システム）	15日間使用不可（電力依存）	× 仮サーバ復旧に12日を要す （震災前状態回復には4ヶ月半を要す）	× 避難開始まで2日を要す 機器持ち出しに20日を要す	
	PC	スタンドアロン利用に数日要す 本庁PCの被害は一部	× スタンドアロン利用に4日要す	× 避難開始まで2日を要す 移動先での利用に10日を要す	
電子媒体（バックアップデータ）	金庫室保管	× 庁舎内保管	× 庁舎内保管		
外部	外部事業者	来庁まで3日を要す	来庁まで5日を要す	移動先へ来庁まで15日を要す	